

10年後のまなざし

村上浩康



「冬歩き」

山田徹



「あいまいな喪失」

我妻和樹



「微力は無力ではない」～ある災害ボランティアの記録～

海子 挿一



「海と石灰」～仮設カフェをつくる～

佐藤真紀



「光の時間」

岡部誠



「オリジナルアニメーション」

日時 2021年2月27日(土)
13:00~17:30 (12:30~受付)

- プログラムA 13:00~「みやぎシネマクラドルってどんな会?」
- プログラムB 14:00~「10年後のまなざし～それが見つめたもの～」
- プログラムC 15:45~ トークセッション

会場 せんだいメディアテーク
7階 スタジオシアター

入場無料 定員40名/要申込み・先着

*詳細は裏面をご覧ください。

*コロナ禍により開催を延期・中止させて頂く場合もございます。(随時ご連絡)

主催:みやぎシネマクラドル /せんだいメディアテーク
企画:みやぎシネマクラドル 協力:i-くさのねプロジェクト

開催にあたり

東日本大震災から十年が経とうとしています。この間、被災した土地に生きる人もそうでない人も、さまざまな思いを抱えながらそれぞれの時間を過ごしてきたことだと思います。今回の企画は、震災を経験し、かつて震災を表現してきた当会の作り手たちの、「地元宮城のみなさんとともに十年という時間を考えるための機会を作りたい」という共通の思いから始まりました。本企画のために有志が作った震災をめぐる作品の上映とその後の対話を通して、みなさんと大事な思いを分かち合う時間になれば幸いです。併せて当会の作り手たちの存在を知つていただくことで、地元宮城の映像文化をより豊かなものにしていくために何ができるのか、みなさんと考えることができます。どうぞご参加ください。



